

クラシキ スマートハンガー (RSH-130 シリーズ) 取扱説明書

この度は弊社スマートハンガーをご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みいただき、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

据付の前に

- 製品をケースより取り出してください。
- 製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 付属品（ボルト・ナット類）をご確認ください。
- 吊ボルト用ナットは付属しておりません。お客様にてご用意ください

各部名称

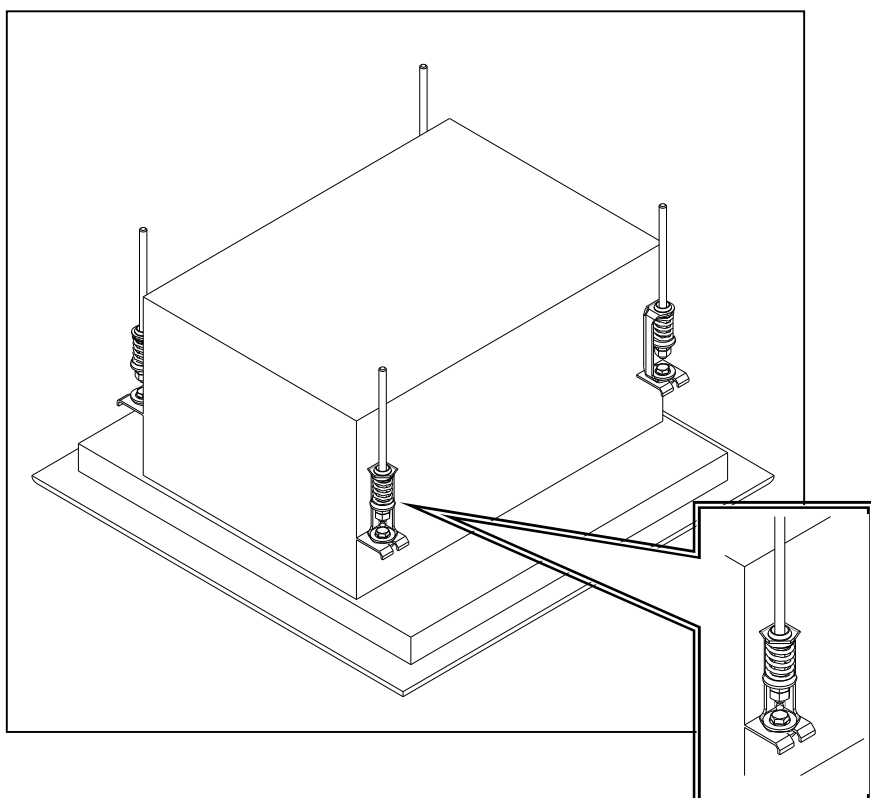
<p><ゴム座側></p> <p><固定側></p>	No.	名 称
	①	ハウジング
	②	コイルばね
	③	座金付ゴム座
	④	ゴム座
⑤	銘板シール	
付属品 M10×40L ボルト・ 1ヶ ナット ・ ・ ・ ・ 2ヶ ワッシャ (小径) ・ ・ 1ヶ ワッシャ (大径) ・ ・ 1ヶ ※吊ボルト、ナット類は付属しておりません。お客様にてご用意ください。		

仕様

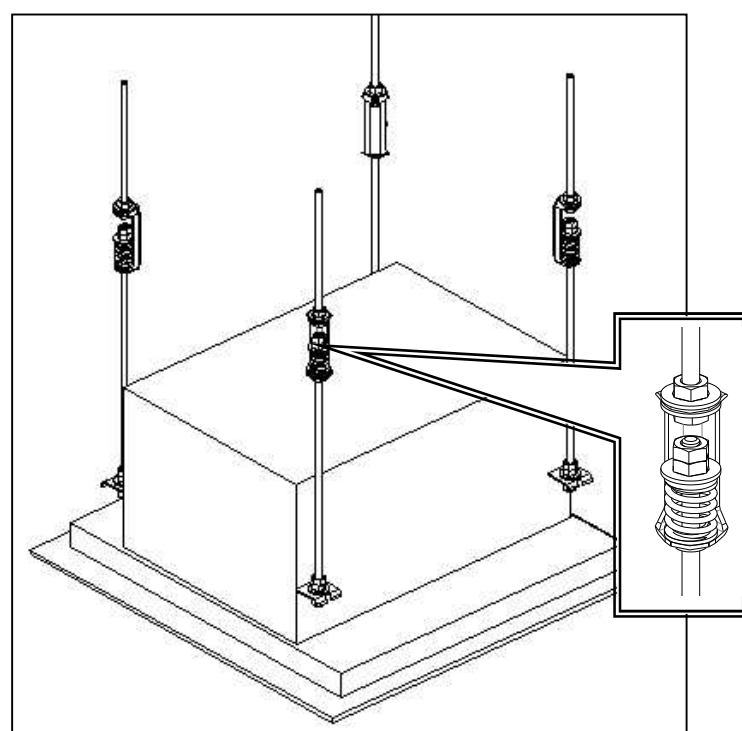
品番	ばね定数	許容荷重	使用吊ボルト	
	(N/mm)		(N[kg])	M
RSH-130-05	3.3	49[5]	10 or 12	3/8 or 1/2
RSH-130-10	6.5	98[10]		
RSH-130-20	13	196[20]		
RSH-130-40	25	392[40]		
RSH-130-60	39.2	588[60]		

製品使用例

・ 機器に直接取り付けられる場合



・ 機器に直接取り付けられない場合



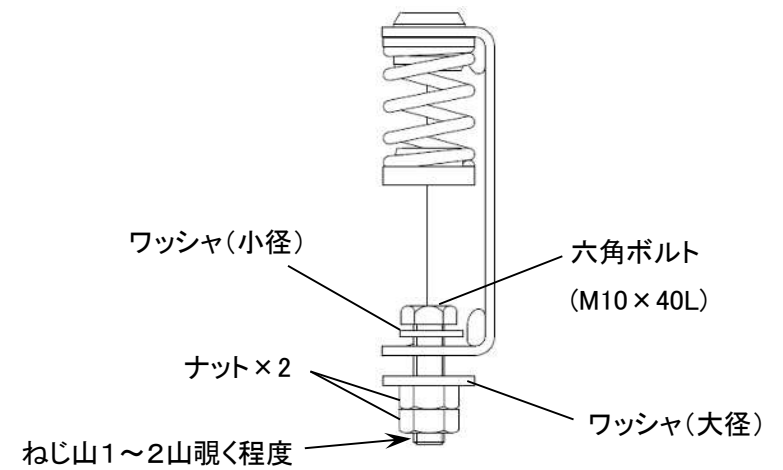
ハンガーの据付要領①

(機器に直接取り付けられる場合)

①【付属ボルトへの取付け】

スマートハンガーの固定側の取付穴に右図要領にて、付属のボルトを仮止めしてください。
この時、小径の方のワッシャをハウジング内側に設置ください。

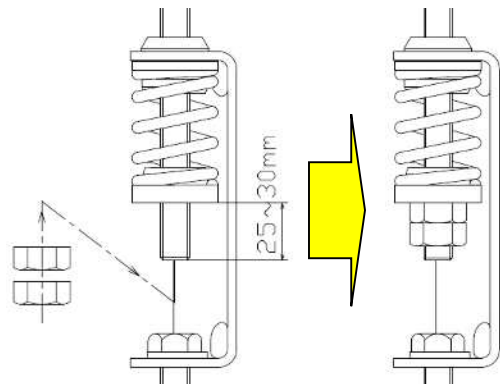
【注意】 ナットの締込みは、ナットの先端からねじ山が1~2山覗く程度に留めておくと、工程③の空調機取り付け作業がし易くなります。



②【吊ボルトの仮取付け】

【吊ボルト先施工の場合】

吊ボルトに、下図要領にてスマートハンガー本体を組みつけてください。
その時、ボルトの先端は座金面より25mm~30mm程度突き出した状態で、ナット(ダブルナット)を組みつけてください。
(吊ボルト用ナットは付属しておりません。お客様にてご用意ください)

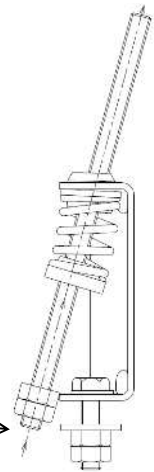


【吊ボルトあと施工の場合】

長ねじボルト(吊ボルト)の先に、ボルトの先端が2~3山覗く程度突き出した状態で、ダブルナットを組みつけてください。
座金付ゴム座を横に押しつけてコイルばねを外側に軽く押し曲げ、座金付ゴム座側より、ボルトを差し込んでください。

【注意】 座金付ゴム座を横に押しすぎると、コイルばねが外れる場合があります。
外れたコイルばねは、元のようにゴム座に差し込んで御使用ください。

ねじ部が2~3山覗く程度

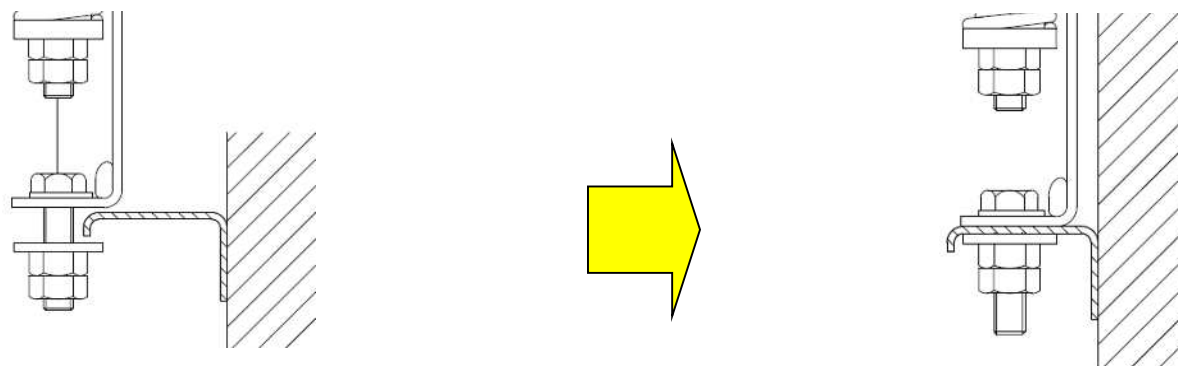


③【機器の据付け】

空調機の取付部を、固定側の取付ボルトに引っ掛けるように設置してください。

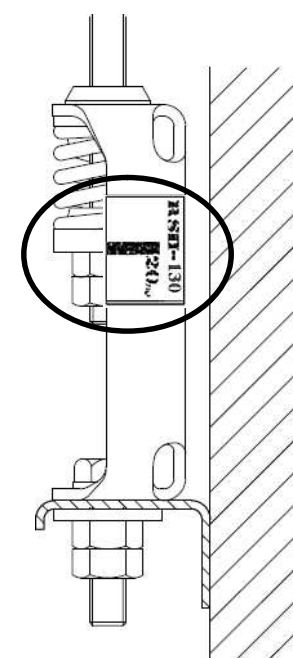
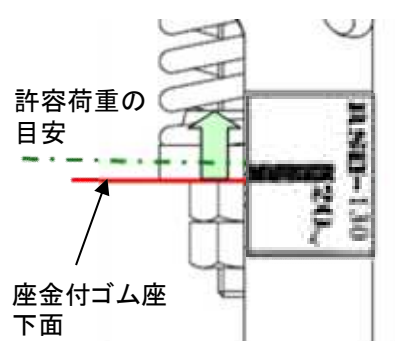
【注意】 機器設置時は急激な荷重はかけず静かに設置してください。また使用荷重内に納まるようにスマートハンガーを選定下さい。

位置が定まりましたら、取付ボルトを締込み、しっかりと固定してください。



④【据付状態の確認】

銘板シールに表示された緑色のラインは許容荷重の目安です。機器を据え付けた時、座金付ゴム座の下面が緑色のラインを超えている場合は、吊り下げ荷重が適正か確認ください。



ハンガーの据付要領②

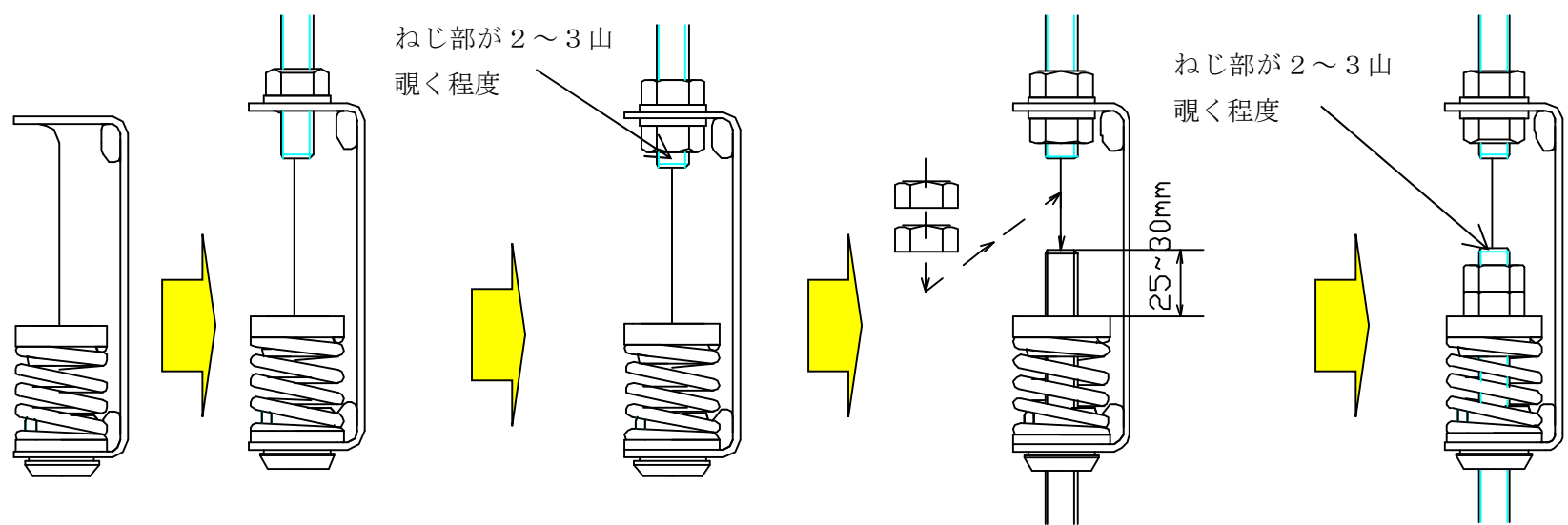
(機器に直接取り付けられない場合)

※下記据付要領は機器に長ねじボルト（以下機器取付ボルト）が施工されている状態での据付要領です。

①【天井吊ボルト（以下吊ボルトの取付け）】

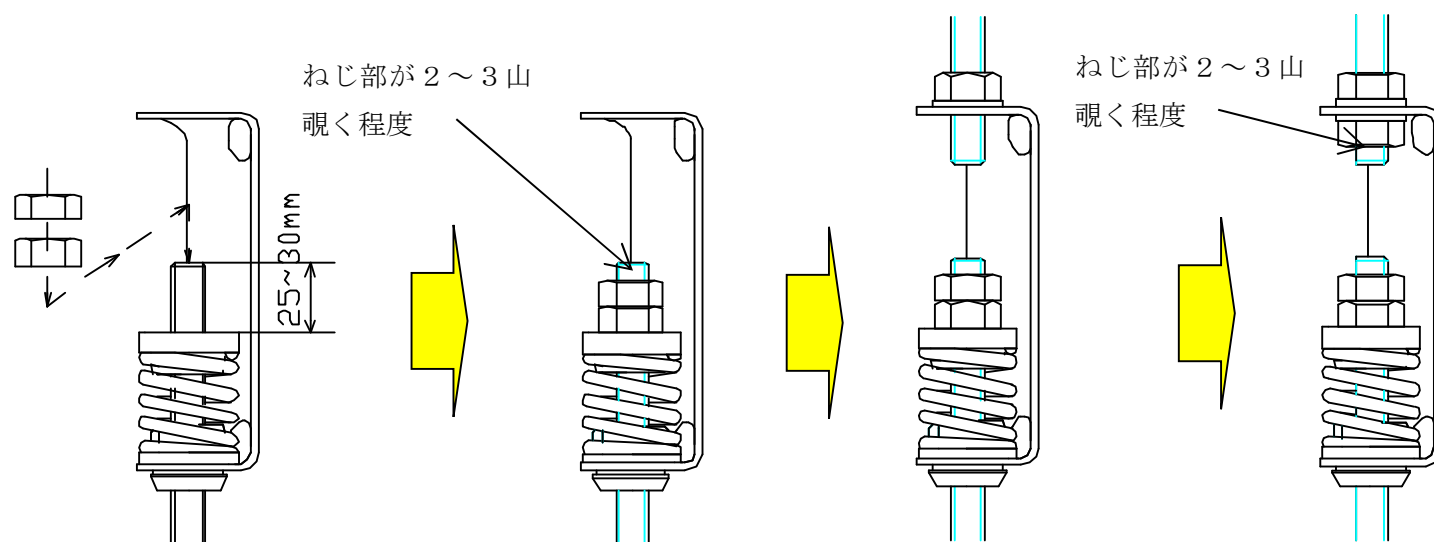
【吊ボルト先施工の場合】

吊ボルトに下図要領にてスマートハンガー本体を組みつけてください。
(吊ボルト用ナット・座金は付属しておりません。お客様にてご用意ください。)
スマートハンガー組みつけ後、機器取付ボルトを取り付けてください。



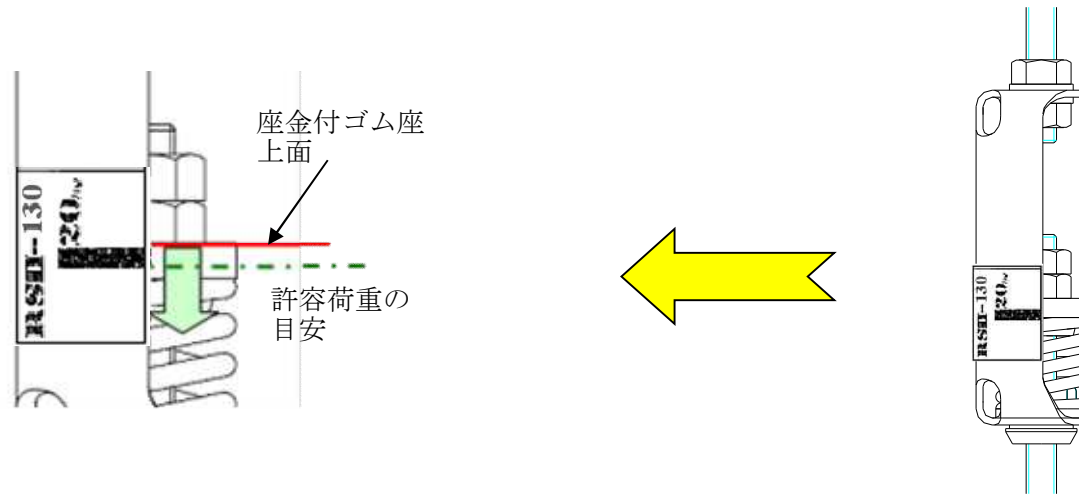
【吊ボルトあと施工の場合】

機器取付ボルトを下図要領にて取り付けてください。
機器取付ボルト取り付け後、吊ボルトに下図要領にてスマートハンガー本体を組みつけてください。
(吊ボルト用ナット・座金は付属しておりません。お客様にてご用意ください。)



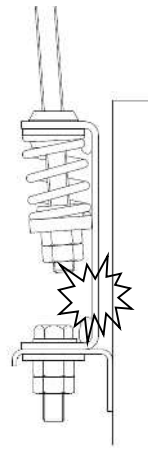
②【据え付け状態の確認】

銘板シールに表示された緑色のラインは許容荷重の目安です。機器を据え付けた時、座金付ゴム座の上面が緑色のラインを超えている場合は、吊り下げ荷重が適正か確認ください。



注意事項

- 吊りボルトは垂直に降ろし、スマートハンガーのハウジングと接触しないよう施工してください。
- 直射日光の当たる場所への施工は避けてください。



- ご注意 ※ 廃棄する場合はゴム部：産業廃棄物、その他：リサイクル鉄材としてください。
※ 作業時の安全確保には十分な配慮をお願い致します。
※ 予告無く本体の構造等を一部変更することがあります。

 **倉敷化工株式会社** 産業機器事業部
<http://www.kuraka.co.jp/sanki/>

〒712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630 TEL(086)465-1715(代)